

処理対象量の見直し

環境省環境再生・資源循環局 ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理推進室
中間貯蔵・環境安全事業株式会社

JESCO荷姿登録量に含まれていない北九州・大阪・豊田事業エリア内の処理対象量の推計

- これまで計上していなかった、PCB特措法に基づき安定器・汚染物等として届出されている量、掘り起こし調査等による発見の見込み量を推計し、処理対象量に追加。
- 試算の結果、処理対象量は10,878トンとなった(これまでの数量9,731トンから1,147トン増加)。

①JESCO荷姿登録量の増加分 約327トン

- 前回会議時点(令和2年7月時点)以降に新規にJESCOに荷姿登録が行われた安定器・汚染物等の重量。

②PCB特措法届け出済JESCO未登録量 約456トン

- PCB特措法に基づく届出量から、JESCO荷姿登録済の数量を除き、重量換算した安定器の重量及び保管事業者へのヒアリングによって把握した汚染物等の重量。
- 今回の監視会議から新規に追加したもの。

③掘り起こし登録量 約560トン

- 自治体による掘り起こし調査結果において安定器の有無が確認されていない事業者から一定数の安定器が掘り起こされると推計して算出した重量(約330トン)
- 多量保管者へのヒアリング調査結果により判明した量(約230トン)
- 今回の監視会議から新規に追加したもの。

④今後JESCOでの処理実施が見込まれないと推定される量 ▲約196トン

- JESCO荷姿登録済み量の中で、前回までは処理対象としていたが、低濃度に該当するため無害化処理施設での処理が可能と想定される汚染物等の重量。

(参考)北九州・大阪・豊田事業エリア内の内訳

最新情報に基づく処理対象量

	令和元年度までの処理実績	令和2年度以降の処理見込み						合計
		JESCO搬入荷姿登録分	無害化(荷姿登録分)	JESCO予備登録分	JESCO未登録数量分	掘り起こし新規発見分	小計	
北九州	3,285	276	0	2	16	51	345	3,630
大阪	1,676	1,883	0	107	173	459	2,622	4,298
豊田	1,402	1,340	0	13	145	50	1,548	2,950
合計	6,363	3,499 (+327)	0 (-196)	122 (+122)	334 (+334)	560 (+560)	4,515 (+1,147)	10,878 (+1,147)

①JESCO荷姿登録量の増加分

②JESCO未登録量の増加分

③掘り起こし登録量の増加分

④処理対象外想定量の減少分

(参考)第44回監視会議の処理対象量

	令和元年度までの処理実績	令和2年度以降の処理見込み						合計
		JESCO搬入荷姿登録分	無害化(荷姿登録分)	JESCO予備登録分	JESCO未登録数量分	掘り起こし新規発見分	小計	
北九州	3,285	178	10	-	-	-	188	3,473
大阪	1,676	1,751	90	-	-	-	1,841	3,517
豊田	1,402	1,243	96	-	-	-	1,339	2,741
合計	6,363	3,172	196	-	-	-	3,368	9,731

(参考)平成26年延長時との比較

- 平成25年の延長要請時には、当時のPCB特措法に基づく届出情報に基づき、安定器・汚染物等の処理対象量として合計で概ね5,900トン程度を見込んでいた。
- その後掘り起こし調査の進展により、処理対象物の量が増加している。

	平成26年 見込 (①)	令和3年 2月見込 (②)	当時比 増加量 (②－①)	当時比 増加率 (②／①)
北九州事業地域	1,900	3,630	+1,730	191%
大阪・豊田事業地域	4,000	7,248	+3,248	181%
3事業地域計	5,900	10,878	+4,978	184%

[単位:トン]